

The social welfare in OSAKA



# 大阪の 社会福祉

2023年8月

819



社会福祉法 大阪市社会福祉協議会

<https://www.osaka-sishakyo.jp>



## ICTを新たなつながりのきっかけに



4・5面 若手職員を中心としたプロジェクトメンバーが活躍

HB

今食品の値上げが止まらない。日本の食料自給率の低さは自

覚していたが、遠くの戦争、円安に鳥インフルエンザなどが重なって、値上げが続いている▼これは大変だと、庭の片隅にひと畝の畑を作って、5月の連休後、1本50円のトマト、ナスビ、キュウリの苗を買ってきた▼いい土壌かどうかともわからない畑で育つかと思いつながら、戦後のどさくさに誰の土地かもわからない荒地を耕して作ったサツマイモを思い出して、肥料をまいて水をやればいいのかと、にわか農民になってみた▼7月はじめ、キュウリが1本、店で売っているくらいの太さに育ったので、カメラを用意して収穫をした。その日はキュウリが主体の献立にしようと考えたのだが、日本の食卓でキュウリはあくまで脇役。サラダや浅漬けでは主役にならない▼色々考えて、手巻き寿司にしようとして、百貨店で魚をたくさん買って来た。1本50円の苗からとれたキュウリだから、1本収穫すればそれで満足▼なんとかキュウリを主役にした手巻き寿司の味は満足のいくものだったが、ナスビもトマトもまだならない。

(石)

# 社協×商店会×介護事業所で 災害時に備える

## 南田辺駅前de防災イベント

＋ イベントを通して  
連携し、防災に  
ついて考える

6月24日、JＲ南田辺駅前

において「南田辺駅前de防災イベント」が開催されました。このイベントは、地震や水害などの災害に備え、地域住民や商店会、介護事業所、区社協、区役所、企業などが協働し、地域全体で災害への備えを高めることを目的に企画されたものです。



▲親子連れや、高齢者など多くの人に参加

代が気軽に参加できるイベントとして、避難体験やクイズを通して楽しく学びながら交流が図られていました。

＋ きっかけは  
「災害時たすけあい  
活動座談会」の開催

このイベントのきっかけは、昨年10月、区社協が防災の取組みに関心のある団体に呼びかけ開催した「東住吉区災害時たすけあい活動座談会」において、商店会や介護事業所から防災・減災をテーマにしたイベントを実施したいとの声があがったことでした。地域に高齢者が多いため、災害時に支援が必要な人にも目を向けてもらいたいという思いから企画が進みました。

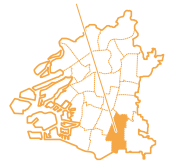
座談会に参加した介護事業所からは、平成30年の台風21号の際にヘルパーを派遣するかどうか迷った経験や、災害時の連絡手段をどうするかなど、事前に検討しておかないといけないという意見があり、区内の訪問介護事業所にも呼びかけ、協働による取組みへとつながりました。



▲車いすdeひなん体験サーキット

＋ 避難や避難生活を  
想定した  
体験ブース

当日、訪問介護事業所などで構成されている一般社団法人地域在宅支援センターは「車いすdeひなん体験サーキット」を考案し、車いすの高齢者や障がい者と一緒に避難する想定で、スロープ昇降やペットボトルなどの障害物を避けながら、車いすを押し、ゴールをめざす体験ブースを設置しました。参加者は途中で、けが人に声をかける体験をしました。ヘルパーや



防災士が並走し、車いす操作やけが人への声かけ方法などをアドバイスしていました。

また区内外の企業から非常用食品などが提供され、参加者はアルファ化米や缶詰めに入ったパン、介護食などを少しずつ試食しました。

ほかにも、防災企業連合関西そなえ隊によるミニ講座、東住吉区リハビリテーション連絡会による避難所での「エコノミー症候群の予防体操」、区役所・警察署による災害備蓄物資の配布や支援活動のパネル展示、ミニ消防車との記念撮影などのブースが設けられ、参加者はスタンプラリーをしながら会場を巡りました。

南田辺駅前商店会の村上肇会長は「以前から防災は必要だと思っており、今回初めて防災イベントの開催に至ったが、たくさんの方の参加があり、盛況だったので、実施してよかった。



▲「たくさんの方の参加があり、よかった」と南田辺駅前商店会の村上会長

### 参加者の声

- 防災クイズで、楽しみながら防災の基礎を知ることができた。日頃から、備えておくことが大切だと思った。
- 体験ブースやクイズなどを通して、こどもが遊び感覚で学ぶことができ、また親子で一緒に防災を学べてよかった。
- 初めて防災食を食べてみたが、思ったよりも食べやすく美味しかった。

親子から高齢者まで地域のいろいろな方とつながれる機会として来年も開催したい」と今後の抱負を語りました。

イベントをふりかえって、区社協の濱辺隆之包括支援担当係長は「昨年度、区役所と協議し、区災害ボランティアセンターの設置場所を長居第2陸上競技場に変更しました。災害支援活動を専門にする団体だけでなく、商店会や介護事業所など、地域住民の生活に欠かせない仕事をしている人たちも発災時のことを危惧しています。今回のようなイベントや訓練を通じて、避難に不安のある人の存在を知り、ともに避難し、災害時にもたすけあえる活動を広げていきたいと思えます」と話しました。



# 地域の課題をヒントに！ 気軽にいらつしやいませ 「おしゃべり」コミュニティ「おいでやす」高殿



地域住民の声から  
誕生！七夕にお寺で  
集いの場開催

7月7日、旭区高殿地域にある清現寺で「おしゃべりコミュニティ」『おいでやす』高殿が開催されました。高殿地域に住んでいる方を対象として、当日、参加者は午後2時から4時までお茶を飲みながらお話をしたり、高殿第13振興町会の北野修一会長をはじめとした、「おいでやす」高殿実行委員会の皆さんが用意したゲーム（手作りジェンガやトランプなど）で遊びながら交流しました。

また、当日は七夕だったため、



▲ジェンガが崩れる瞬間は「あー！」と大盛り上がり！



▲笹へ短冊を吊るしました

「願いごとなんて久しぶりやわ」と話しながら、短冊に願いごとを書きました。どのテーブルもにぎやかな笑い声が響き、楽しいひと時を過ごしました。

地域の課題を把握し、  
検討会議を重ねて  
立上げへ

高殿地域は、西側（高殿6丁目）に地域の会館がありますが、東側（高殿7丁目）に住む住民が会館へ行くには大きな道路（国道1号線）を越えなければならぬことから利用しづらく、住民が気軽に集えるような場所がないという課題がありました。そのような状況で、コロナ禍となり、外出することが減ったため、体力の低下や話す機会の減少など、地域のなかで一層さまざまな課題が見えてきました。



▲5つのテーブルに分かれて自由に過ごしました

そこで、今年2月頃から「高齢者の居場所づくり」について、区社協、地域包括支援センター及び旭陽プランチ、高殿連合振興町会・高殿校下地域活動協議会の会長、高殿7丁目の町会長・女性部長、民生委員・児童委員など高殿7丁目の地域住民を中心としたメンバーで検討会議を重ねてきました。

高殿7丁目の現状と今後の取組みについて検討したところ、「実際にお住まいの高齢者はどのように感じているのかまずは知りたい」という声がありました。そこで、ニーズ調査を実施することを目的に、4月に清現寺を会場におしゃべりカフェを実施



▲「どんどんよい会にしていきたい」と北野会長

活動終了後、すぐにふりかえりを実施しました。北野会長は「想定していた以上にたくさんの方が来てくれ、夢中になって楽しんでいただけだったので、よかったです。今後は月1回開催し、この

参加者に楽しい  
ひと時を過ごして  
もらえるように

しました。終了後のアンケート結果をもとに、検討会議で話し合い、アンケート結果で一番多かった「気軽に集えて、お話ができる場」が必要であると、地域住民を主体とした「おいでやす」高殿実行委員会が立ちあがり、今回の開催に至りました。

当日、実行委員会メンバーは「どのようなレイアウトだと参加者が過ごしやすいのだろうか」と相談しながら、準備をすすめました。

初めての開催でしたが、実行委員会メンバーの呼びかけや掲示板での周知に力をいれたこともあり、参加者同士が誘い合いながら、約30人の参加がありました。

## 参加者の声

- 近所に集まる場所がなかったので、参加できてうれしい。また開催してほしい。
- ゲームをして、こどもの頃に戻れた気分になり、楽しかった。
- たくさんの方とお会いでき、お話もできて楽しかったです。また参加したいと思います。
- 初めてジェンガをして、おもしろくて夢中になった。

サロンにきた方々同士がつながりをつくり、声をかけあえるようにしていきたい。また、今回出た改善点を反映していきたい」と話しました。

今回立上げに関わった区社協の森山彩夏第1層生活支援コーディネーターは、「今年の4月に生活支援コーディネーターとして着任し、ニーズ調査から活動の立上げまで、実行委員会の皆さんと何度も話し合いを重ねてきました。検討会議を通して、実行委員会の皆さんから地域の方に喜んでほしいという強い思いを感じ、私自身もこの活動に対する思いが一層強くなりました。今後の課題としては、参加者の方に『また来たい』と思ってもらえるよう、気軽に集える場としての定着をめざし、関わっていきたくです」と話しました。

## そもそもICTって?



- ICTとは「Information and Communication Technology」の頭文字を取った言葉です。
- SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やメールを通じたやりとり、オンライン会議など、通信技術を活用して人と人とのコミュニケーションを豊かにするというものです。

市社協では令和3、4年度の2年間、地域福祉活動や社協事業でのICT活用に向けて、「ICTでもつながりづくりプロジェクト」を実施しました。年度単位で、区社協職員によるプロジェクトチームを結成し、職員向けの学習会や、手引き・動画制作などに取り組んできました。本記事ではその成果の一部を紹介しします。

# ICTを新たなつながりのきつかけに 「ICTでもつながりづくりプロジェクト」報告



## コロナ禍のピンチをチャンスに

令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、対面でのコミュニケーションが制限され、社会全体でICTツールの活用が急速に広がりました。社協事業や地域福祉活動も、対面での集まりの中止が相次いだ一方で、オンライン会議や各種SNSが積極的に取り入れられるようになりました。

直接会うことで人と人がつながる・ふれあうことの大切さは決して変わるものではありませんが、コロナ禍により身近になったICTツールをうまく取り入れることは、新たな出会いや参加、特技や関心を活かした活動の創出、話し合いの継続など、つながりの幅を広げられる可能性があります。



## まずは社協職員が習得、そして地域のつながりに

プロジェクト1年目の令和3年度は、まずは社協職員が苦手意識を克服し、自分たちで取り入れることから始めようと、職員向けに「ICT活用マニユ

アル」を作成しました。

2年目（令和4年度）は、ICTツールを実際のつながりづくりに活かせるよう、「地域福祉活動におけるICT活用ポイント集」を作成。展開のイメージを、ステップとしてまとめ、それらを具体化した事例も掲載しています。この資料は、地域福祉活動に関わる方々に活用していただけるよう、HPで一般公開しています。



▲令和3年度プロジェクトチーム会議ではさまざまな職種の区社協職員が検討を重ねました



▲プロジェクトメンバー自ら動画撮影・制作にもチャレンジ



▲令和4年度プロジェクトチームは入職1～4年目（当時）の若手職員で構成。写真左から橋口風伍（西成区社協）、古賀愛望（城東区社協）、森千遥（中央区社協）、塚下瞳（福島区社協）



▲撮影した映像を編集



## 地域福祉活動におけるICT活用ポイント集

- ①なぜ地域福祉活動にICT? (作成趣旨)
- ②ICTでつながる、つなげる (ICTツールを使える人を増やそう)
- ③ICTで多様な参加を (講演会などの開催にICTを取り入れる)
- ④ICTで効果的に情報発信 (SNS活用、動画制作)

<https://www.osaka-sishakyo.jp/ict2023/>



### 掲載事例 オンラインボランティア養成講座 (福島区社協)

#### ステップ1 状況・背景を整理して目的・ねらいを確認

##### ▶ 区社協としての思い・考え

「コロナ禍でオンラインを活用した取組みが進んでいる。高齢者の活動の場を広げる可能性もある」  
「今後、オンラインを活用した取組みをさらに広げるためにも、オンライン操作をサポートするボランティアの養成も必要」

#### ステップ2 ICTツールを使った企画の実施

##### ▶ 「オンライン (Zoom) ボランティア養成講座」の実施 (全3回)

1 講目	
2 講目	Zoomに関する講義・体験 (区社協での参集)
3 講目	自宅からZoomを使ってみよう



#### ステップ3 実施後のフォローアップ

- Zoom復習会として、受講者が1~2か月に1回Zoomで集まって実施 → 操作の復習、近況報告から、自然と特技や趣味を共有する場に発展
- ボランティア活動として、Zoom操作のサポートなどで受講者が活躍  
例：社会福祉施設とパフォーマンスボランティアをZoomでつなぐ



#### 新たなステップへ

- Zoom復習会から、オンラインで交流を持ち続けたいという思いが高まり、グループ化に発展
- 口コミでメンバーを増やししながら、新メンバー参加時のサポートもおこなっている



6月30日に開催した報告会の様子

市社協では、プロジェクトの成果を共有するため、6月30日に区社協職員向けの報告会を開催し、会場・オンライン計95人が参加しました。  
本プロジェクトは2年間で完結となりますが、今後も市・区社協では、対面でのつながりを基本としながら、「ICT」でも「つながる取組みを推進していきます」。



# 乳幼児の子育て中にホッとでき、相談できる 子育てサロンの今

市社協では、コロナ禍における地域福祉活動状況の推移を定期的に調査し、工夫をこらした活動や活動者の思いを交えて本誌でも報告してきました。今号では、地域福祉活動のうち、子育てサロンに焦点を当てて紹介します。

## 子育てサロンとは

子育てサロン（地域により子育てサークルや親子のつどいなどの呼称もあり）とは、乳幼児と保護者（マタニティママ含む）が楽しく遊べ、子育ての悩みを相談でき、仲間の輪が広がることをめざした活動です。地域会館や学校の空き教室などでおおむね月1回実施されています。平成14～15年に全国社会福祉協議会のモデル事業が実施され、子育て世帯が孤立することなく、地域で子育てをすすめるための活動として大阪市内でも広がりました。

多くの子育てサロンが、主任児童委員が中心となって開催されており、区社協もその活動を支援しています。活動に参加することで悩みを相談できるほか、地域の情報を得ることができたり、必要に応じて支援機関

につながることもできます。

※子育てサロンの開催状況・参加方法については各地域で異なりますので、各区社協にお問合せください。区によっては区役所や子ども・子育てプラザなどのホームページで情報発信しているところもあります。

## 主任児童委員とは

民生委員・児童委員の中から指名された委員で、妊婦さんや乳幼児・児童など、子育て家庭に関することを専門に担当しており、大阪市内では小学校区におおむね2人配置されています。

担当地域の民生委員・児童委員と協力、連携しながら子育てサロン・サークルの運営や児童虐待防止の活動などに取り組んでいます。また、学校や区役所との会議を通じて子育て環境の改善や子育て支援の活動にも取り組んでいます。

（引用：大阪市民生委員児童委員協議会ホームページ）

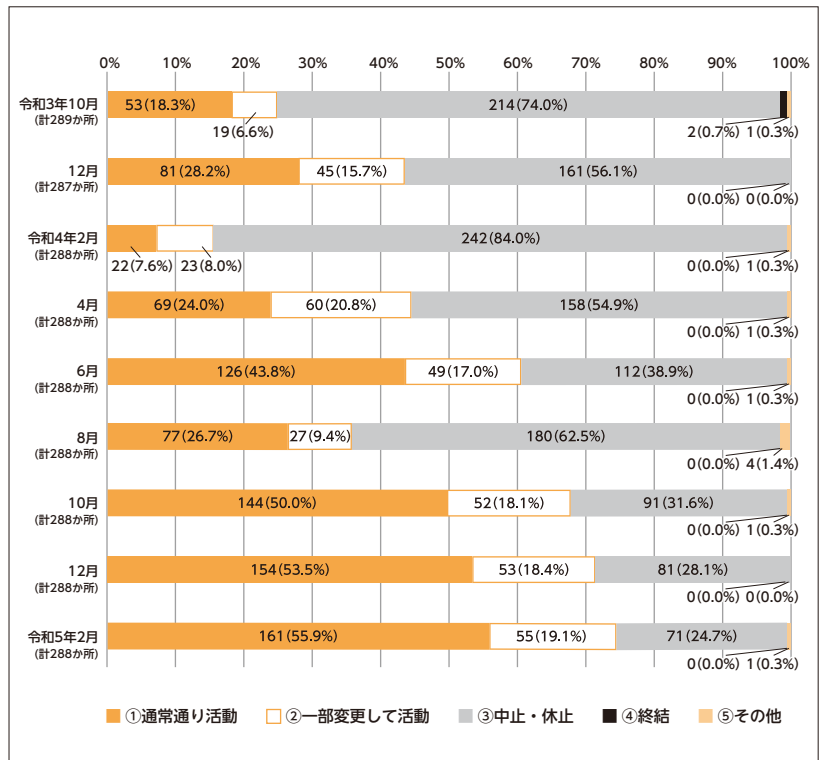
## 活動状況調査結果から考える

市社協で実施した「コロナ禍における地域福祉活動状況報告書」からコロナ禍での推移を考えます。

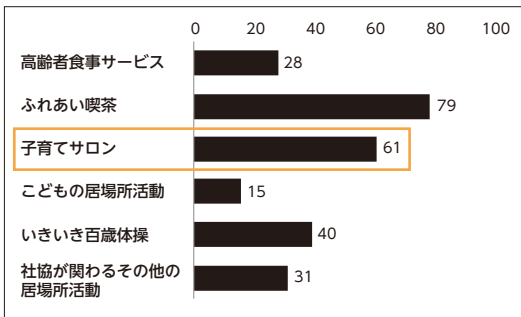
区社協を通じて調査した結果、調査対象となった子育てサロンは290か所でした。調査を開始した令和3年10月末時点では、活動の実施割合（通常通り活動＋一部変更して活動）は24.9%でしたが、令和5年2月には75.0%まで増加しました（図1）。子育てサロンは、マスクの着用や感染対策の徹底が難しい乳幼児が集まることもあり、感染拡大状況と連動して実施割合が大きく増減しました。

そのようななかでも、人数制限や開催時間の短縮、開催場所の変更、あるいは感染症対策を取り入れた運営方法を学んで活動者で考えて開催したり、手作りおもちゃキットの配付、活動拠点と参加者の自宅をオンラインでつないでの交流など、工夫をこらしながら活動が継続されてきました。

一方で、調査期間の令和3年



▲図1 子育てサロンの活動状況の推移



▲図2 全9回の調査ですべて「中止・休止」を選択していた活動の数

▼報告書はこちらからご覧いただけます





## 活動者の思い、悩み、試行錯誤も

一生懸命準備をしても参加者が少ないことも…。

子育てサロンの目的は、こどもに楽しんでもらうことだけではない。参加したみなさんが、ちょっとでもホッとできる時間をつくってもらえるなら、参加者が少なくても開催する意味があると思って開催している。

参加者が減っているけれど、お母さんたちの心に寄り添いたい。

無理なく続けていくことが大事。



▲浪速区 さいわいちやう 幸町地域



▲鶴見区 やけの 焼野地域

10月から令和5年2月時点で、ずっと休止をしていたところも61か所(全体の21・0%)という結果になっています(図2)。なかには調査開始前も含めて、休止期間が3年以上となっているところもあると推察されます。

そうしたなかで、対象者が乳幼児親子という子育てサロンならではの悩みもあります。例えば、コロナ禍前の参加(経験)者は成長してすでに対象者ではなくなっていたり、次の世代の方に口コミで伝わって参加していたのが途切れてしまったことなどもあってか、参加者の減少傾向が見られるサロンもあります。

## 活動を充実させるための工夫

近所の公園に出向いて、直接親御さんに声をかけて子育てサロンを周知している。

公式LINEを使って、登録者に開催情報やメッセージを発信している。

こども食堂と子育てサロンを同じ日に同じ会場で、時間をずらして開催している。午前中に子育てサロンに参加した後に、こども食堂でごはんを食べていく親子もいる。

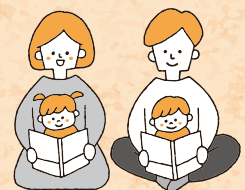
区の子育てサロン連絡会で情報交換をしている。

子育てプラザで区内すべての子育てサロンのようすを写真とコメント付きで掲示している。

通常の開催だけでなく、区社協が読み聞かせのボランティア(区ボランティア・市民活動センター登録ボランティア)を調整し、参加者が楽しめる、またボランティアの活動・活躍の場となるようにしている。

集まるのが難しかったことをきっかけに絵本の貸し出しを始めて今も続けている。

まだ再開はできていないけれど、活動再開に向けて、話し合いを続けている。



**親子で気軽に  
安心して  
参加できる場**

子育てサロンは、地域単位でボランティアの手によって企画・運営されており、他の子育て施設以上に、身近なところで同じ地域に住む親子や活動者の方々とつながるきっかけになり得る活動です。活動者もさまざまな思いとあたたかなまなざしを持ちながら、親子が孤立することなく、少しでもホッとできる居場所となるように取り組まれています。

コロナ感染者数の減少や5類感染症に移行したこともあり、再開している活動や新たに立ちあがっている活動もあります。参加者が減っていたり、同じ形で活動を続けるべきか悩んでいる活動者の方々もいるかもしれません。

そのようなときこそ、活動者同士や区社協、関係機関が一緒になって、活動の目的について改めて確認し、方法を検討する場が必要と考えます。身近で気軽に親子で参加できる子育てサロンのこれからについて、社協としても、ともに考えていきます。



# 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

会長 永岡 正己

副会長 清水 弘 / 多田 龍弘 / 武智 虎義  
/ 小嶋 憲子 / 前田 葉子

# 暑中お見舞 申し上げます

社会福祉法人 大阪市北区社会福祉協議会	会長 小玉 始	社会福祉法人 大阪市都島区社会福祉協議会	会長 前田 起平
社会福祉法人 大阪市福島区社会福祉協議会	会長 矢山 英夫	社会福祉法人 大阪市此花区社会福祉協議会	会長 岩井 政人
社会福祉法人 大阪市中央区社会福祉協議会	会長 浦野 皖次	社会福祉法人 大阪市西区社会福祉協議会	会長 笹倉 和忠
社会福祉法人 大阪市港区社会福祉協議会	会長 武智 虎義	社会福祉法人 大阪市大正区社会福祉協議会	会長 川上 満
社会福祉法人 大阪市天王寺区社会福祉協議会	会長 一本松三雪	社会福祉法人 大阪市浪速区社会福祉協議会	会長 北口 武司
社会福祉法人 大阪市西淀川区社会福祉協議会	会長 大垣 純一	社会福祉法人 大阪市淀川区社会福祉協議会	会長 三田 和夫
社会福祉法人 大阪市東淀川区社会福祉協議会	会長 吉田 正則	社会福祉法人 大阪市東成区社会福祉協議会	会長 清水 弘
社会福祉法人 大阪市生野区社会福祉協議会	会長 多田 龍弘	社会福祉法人 大阪市旭区社会福祉協議会	会長 宮本 正路
社会福祉法人 大阪市城東区社会福祉協議会	会長 高木 正博	社会福祉法人 大阪市鶴見区社会福祉協議会	会長 中田 俊二
社会福祉法人 大阪市阿倍野区社会福祉協議会	会長 永岡 正己	社会福祉法人 大阪市住之江区社会福祉協議会	会長 中野紀久雄
社会福祉法人 大阪市住吉区社会福祉協議会	会長 山下 保一	社会福祉法人 大阪市東住吉区社会福祉協議会	会長 川本 公夫
社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会	会長 林 幸男	社会福祉法人 大阪市西成区社会福祉協議会	会長 越村 市二

## 大阪市社会事業施設協議会

会長 川端 均 (大阪市生活保護施設連盟)  
副会長 岡本 佳久 (大阪市児童福祉施設連盟)  
副会長 近藤 遼 (大阪市保育連合会)  
副会長 新田 正尚 (大阪市老人福祉施設連盟)  
副会長 加藤 久美 (大阪市地域福祉施設協議会)  
副会長 山内 泰典 (大阪市障害児・者施設連絡協議会)

【事務局】 〒543-0021

大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内  
電話 6765-5606 FAX 6765-5607



支えあう 住みよい社会 地域から

## 大阪市民生委員児童委員協議会

会長 小嶋 憲子  
副会長 桑野 太一郎  
副会長 浦野 英男  
副会長 山本文雄

〒543-0021

大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内  
電話 6765-5609 FAX 6765-5603

公益社団法人

## 大阪市ひとり親家庭福祉連合会

会長 北 玲子

〒531-0071

大阪市北区中津1-4-10

大阪市立愛光会館内

電話 6371-7146 FAX 6371-6722

<https://www.hitoren-osaka.org>

## 社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター

理事長 船戸 正久

南大阪小児ハビリテーション病院(保険医療機関)

わかば(医療型障害児入所施設・短期入所事業)

ふたば(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業)

いぶき(特定相談支援事業・障害児相談支援事業)

フェニックス(医療型障害児入所施設・療養介護事業・短期入所事業)

なでしこ(生活介護事業・児童発達支援事業)

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂5-11-21 電話 6699-8731 FAX 6699-8134

みらい(放課後等デイサービス) 電話 7501-0282 FAX 7504-0212

ひなた(生活介護事業) 電話 7501-0319 FAX 7501-0330

きらり(共同生活援助事業) 電話 7501-0328 FAX 7501-0330

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂5-12-5

訪問看護ステーション めぐみ(指定訪問看護事業)

電話 6699-8855 FAX 6699-8856

ヘルパーステーション めぐみ(指定訪問介護事業)

電話 7506-9223 FAX 6699-8856

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂5-9-16

大阪発達総合療育センター あさしお診療所(保険医療機関)

あさしお園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業)

ゆうなぎ園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業)

〒552-0004 大阪市港区夕風2-5-3

電話 6574-2521 FAX 6574-2524

一般財団法人

## 大阪市身体障害者団体協議会

会長 手嶋 勇一

副会長 川越 利信

副会長 廣田 しづえ

副会長 山梨 徳治

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10



大阪市立社会福祉センター内

電話 6765-5636 FAX 6765-7407

<http://shishinkyo.o.oo7.jp>



<p>一般社団法人 <b>大阪市児童福祉施設連盟</b></p> <p>会長 岡本佳久</p> <p>児童養護施設 母子生活支援施設 児童自立支援施設 乳児院 児童心理治療施設 福祉型障害児入所施設 児童発達支援センター</p> <p>【事務局】 社会福祉法人 大念仏寺社会事業団 〒547-0045 平野区平野上町1-7-3 電話 6791-5410 FAX 6791-7774</p>	<p>一般社団法人 <b>大阪市私立保育連盟</b></p> <p>会長 近藤 道<small>つし</small> 会員一同</p> <p>〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電話 6761-1171 http://o-shihoren.or.jp/</p>	<p><b>大阪市生活保護施設連盟</b></p> <p>会長 川端 均 会員一同</p> <p>【事務局】 救護施設 平和寮 内 〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-4-27 電話 6628-6151 FAX 6628-0441</p>
<p><b>大阪市障害児・者施設連絡協議会</b></p> <p>会長 山内泰典</p> <p>【事務局】 あすわ〜く 内 〒533-0014 大阪市東淀川区豊新1-3-3 電話 080-4760-8215 FAX 06-6815-0255 http://www.ossk.org</p>	<p>特定非営利活動法人 <b>大阪市地域福祉施設協議会</b></p> <p>会長 加藤久美 会員一同</p> <p>〒557-0004 西成区萩之茶屋2-9-2 わかくさ保育園内 電話 6633-2965 FAX 6633-2970</p>	<p>社会福祉法人 <b>しんもり福祉会</b></p> <p>理事長 松野五郎 平和の子保育園 平和の子どもの家 らっこデイサービスセンター 大阪市立両国保育所 〒535-0022 大阪市旭区新森7-1-5 電話 06-6954-0524 FAX 06-6954-1961 heiwa-ko@vega.ocn.ne.jp http://www.shinmori-fukushikai.or.jp</p>
<p>みおつくしクラブ大阪（愛称） 一般社団法人 <b>大阪市老人クラブ連合会</b></p> <p>理事長 野口一郎</p> <p>〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター3階 電話 4304-8555 FAX 4304-8557</p>	<p>障がいのある人が安心して心豊かにすごせるように 社会福祉法人 <b>大阪市手をつなぐ育成会</b></p> <p>理事長 長谷川 美智代 役員・会員一同</p> <p>〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電話 6765-5621 FAX 6765-5623</p> 	<p>社会福祉法人 <b>今川学園</b></p> <p>理事長 魚住 誠一</p> <p>保育所・隣保館・子どもの家・ キンダーハイム・大和川園・今林の里・ ふれあいホーム・ハーモニー・ ワークセンターいまがわ</p> <p>〒546-0003 大阪市東住吉区今川3-5-8 電話 6713-6106</p>
<p>社会福祉法人 <b>大阪自彊館</b></p> <p>理事長 川端 均</p> <p>〒557-0014 大阪市西成区天下茶屋1-3-17 電話 6659-8181 FAX 6652-2218 http://www.ojk.or.jp</p>	<p>社会福祉法人 <b>大阪市障害者福祉・スポーツ協会</b></p> <p>理事長 石田 易司</p> <p>〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12番10号 電話 06-6767-9981</p> <p>【運営事業所一覧】 大阪市長居障がい者スポーツセンター 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター 大阪市更生療育センター ワークセンター中津 ワークセンター中授 ワークセンター千里 大阪市立此花作業指導所 ワークセンター粉浜 中津サテライトオフィス 大阪市立早川福祉会館 サテライト・オフィス平野 大阪市障がい者相談支援研修センター 大阪市職業指導センター 大阪市職業リハビリテーションセンター 大阪市障がい者就業・生活支援センター 大阪市発達障がい者支援センター【エルムおおさか】</p>	<p>社会福祉法人 <b>柿の木福祉の園</b></p> <p>理事長 宮川 友理子</p> <p>長居保育園 長居保育園乳児センター 長居子どもの家 長居西地域在宅サービスステーション ながいの里 居宅介護支援事業所 ながいの里</p> <p>〒558-0004 大阪市住吉区長居東4-11-16 電話 6691-3669 FAX 6691-8292 http://www.kakinoki.or.jp</p>
<p>社会福祉法人 <b>大阪重症心身障害児者を支える会</b></p> <p>理事長 三田 康平</p> <p>〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-23-11 電話 6622-3759 FAX 6622-3769 E-mail center@sasaeru.or.jp</p>	<p>社会福祉法人 <b>大阪福祉事業財団</b></p> <p>生きるを支える</p> <p>理事長 茨木 範宏 常務理事 山本 政幸 常務理事 勝原 祐子 事務局長 桑原 一章</p> <p>〒536-0001 大阪市城東区古市1-7-8 電話 6931-0098 FAX 6933-1699 mail:since1948@zaidanosaka.or.jp https://www.zaidanosaka.or.jp</p> 	<p>社会福祉法人 <b>四恩学園</b></p> <p>理事長 中西 裕</p> <p>●乳児院・児童養護施設 ●幼児・乳児・夜間保育園 ●子どもの家(学童)・子育て支援センター ●地域密着型特別養護老人ホーム デイサービス・認知症デイサービス・ホームヘルプセンター 住吉区東地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・ 在宅介護支援センター</p> <p>〒558-0011 大阪市住吉区菟田4-3-9 電話 6607-2220 FAX 6696-5347 http://shiongakuen.or.jp</p>
<p>まかせてください その仕事！ 公益社団法人 <b>大阪市シルバー人材センター</b></p> <p>本部 城東区関目3-1-14 電話 6931-0221 南部支部 天王寺区東高津町12-10 電話 6765-6116 西部支部 西区立売堀4-10-18 電話 6543-7011 北部支部 北区池田町1-50 電話 6882-3830 訪問介護事業所 城東区関目3-1-14 電話 6180-1010 (本部事務所併設) http://www.osakasc.or.jp</p>	<p>社会福祉法人 <b>久栄会</b></p> <p>理事長 岩崎 久直</p> <p>〒544-0013 大阪市生野区巽中3-14-3 電話 6756-5200 FAX 6756-6688 http://www.minori-en.com/</p>	<p>社会福祉法人 <b>四恩学園</b></p> <p>理事長 中西 裕</p> <p>●乳児院・児童養護施設 ●幼児・乳児・夜間保育園 ●子どもの家(学童)・子育て支援センター ●地域密着型特別養護老人ホーム デイサービス・認知症デイサービス・ホームヘルプセンター 住吉区東地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・ 在宅介護支援センター</p> <p>〒558-0011 大阪市住吉区菟田4-3-9 電話 6607-2220 FAX 6696-5347 http://shiongakuen.or.jp</p>


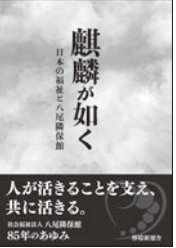

 <p><b>社会福祉法人 四天王寺福祉事業団</b></p> <p>理事長 南谷 恵敬 常務理事 塚原 昭人 常務理事 廣瀬 善重</p> <p>〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1-11-18 電話 6771-7971 FAX 6771-8961</p>	 <p>誠意・信頼・感謝 社会福祉法人 <b>スワンなにわ</b></p> <p>理事長 樋口 恵光</p> <p>居宅介護支援事業所 訪問介護 デイサービス 認知症対応型デイサービス 認知症対応型グループホーム 生活支援事業所 児童デイサービス 就労継続支援B型事業所</p> <p>〒556-0026 大阪市浪速区浪速西2-11-6 電話 6562-0456 <a href="http://care-net.biz/27/swan/">http://care-net.biz/27/swan/</a></p>	<p><b>社会福祉法人 治栄会</b></p> <p>理事長 大森 秀之</p> <p>〒534-0027 大阪市都島区中野町5-10-70 電話 4253-8055 FAX 4253-8066 <a href="https://www.jieikai.or.jp/">https://www.jieikai.or.jp/</a></p>
--	--	--

<p><b>社会福祉法人 晋栄福祉会</b></p> <p>理事長 濱田 和則</p> <p>〈鶴見区〉茨田大宮ちどり 施設長 上東 恵子 〈都島区〉東野田ちどり保育園 園長 江川永里子 〈城東区〉城東ちどり保育園 園長 山本 信吾 〈東成区〉大阪市立東中本保育所 所長 高田 幸代 〈大正区〉大阪市立北恩加島保育所 所長 井口 克己 〈北区〉中之島ちどり保育園 園長 小林 操 〈中央区〉御堂筋本町ちどり保育園 園長 高平 友子 〈福島区〉新福島ちどり保育園 園長 松本 行弘</p>	<p><b>社会福祉法人 水仙福祉会</b></p> <p>理事長 松村 寛</p> <p>〒533-0004 大阪市東淀川区小松1-13-21 電話 6328-3786 FAX 6328-3788 E-mail <a href="mailto:honbu@suisen.or.jp">honbu@suisen.or.jp</a> <a href="http://www.suisen.or.jp/">http://www.suisen.or.jp/</a></p>	<p><b>社会福祉法人 聖家族の家</b></p> <p>理事長 上利 久芳</p> <p>児童養護施設 聖家族の家 乳児院 聖母託児園 児童心理治療施設 児童院 テルミエ診療所</p> <p>〒546-0033 東住吉区南田辺4-5-2 電話 6699-7221 FAX 6699-7243 E-mail <a href="mailto:holyfamily@luck.ocn.ne.jp">holyfamily@luck.ocn.ne.jp</a></p>
---	---	---

 <p><b>社会福祉法人 なみはや福祉会</b></p> <p>理事長 竹本 榮</p> <p>〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電話 6761-3010 <a href="http://www.namihaya.or.jp">http://www.namihaya.or.jp</a></p>	<p><b>社会福祉法人 博愛社</b></p> <p>理事長 畑野 研太郎</p> <p>〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里3-1-72 電話 6301-0367 FAX 6301-5347 <a href="https://www.hakuaisha-welfare.net/">https://www.hakuaisha-welfare.net/</a></p>	<p><b>社会福祉法人 日本ライトハウス</b></p> <p>理事長 橋本 照夫</p> <p>〒538-0042 大阪市鶴見区今津中2-4-37 電話 6961-5521 FAX 6968-2059 <a href="http://www.lighthouse.or.jp/">http://www.lighthouse.or.jp/</a></p>
---	--	--

 <p><b>社会福祉法人 みおつくし福祉会</b></p> <p>理事長 田丸 卓嗣</p> <p>〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電話 6765-5611 FAX 6765-5614 <a href="https://www.miotsukushi.or.jp/">https://www.miotsukushi.or.jp/</a></p>	 <p><b>社会福祉法人 みなと寮</b></p> <p>理事長 大西 豊美</p> <p>〒586-0052 河内長野市河合寺423番1 電話 0721-62-3700 FAX 0721-62-3711 <a href="http://www.minatoryo.or.jp/">http://www.minatoryo.or.jp/</a></p>	 <p><b>社会福祉法人 都島友の会</b></p> <p>理事長 渡久地 歌子</p> <p>〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-4-3 電話 6921-0321 FAX 6924-2055 <a href="http://www.miyakojima.or.jp">http://www.miyakojima.or.jp</a></p>
---	--	--

 <p>あふれる笑顔 <b>社会福祉法人 優心会</b></p> <p>理事長 垣谷 隆太</p> <p>・介護老人福祉施設 ・通所介護 ・短期入所生活介護 ・居宅介護支援事業</p> <p>〒547-0014 大阪市平野区長吉川辺3丁目2番3号 電話 06-6700-8000 FAX 06-6700-8400 <a href="http://yuushinkai.or.jp">http://yuushinkai.or.jp</a></p>	 <p>学校法人 田島学園 (奈良東病院グループ) <b>近畿社会福祉専門学校</b> 厚生労働大臣指定 (介護福祉士養成校)</p> <p>理事長 鉄村 俊夫 学校長 榎 豪司</p> <p>〒534-0025 大阪市都島区片町1-5-13 大手前センチュリービル3階 電話 6136-1117 FAX 6136-1115 <a href="http://www.kinki-sw.ac.jp">http://www.kinki-sw.ac.jp</a></p>	<p>人に寄り添う福祉を学ぶ</p>  <p><b>関西福祉 科学大学</b> 社会福祉学部</p> <p>大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1 ☎072-978-0088</p>
---	---	--

 <p>発行 季刊紙</p>	<p>福祉と教育を発信する</p> <p><b>一般社団法人 檸檬新報舎</b></p> <p>代表理事・編集長 平田 篤州 理事・東京支部長 末永 良一 理事・編集委員 水流添 綾 理事・編集委員 横須賀 文</p> <p>〒541-0046 大阪市中央区平野町2-2-9 ビル皿井701 TEL 090-7765-1812 <input type="text" value="れもんしんぼう"/> <input type="button" value="検索"/></p>	 <p>出版 法人史</p>	 <p><b>社会福祉法人 路交館</b></p> <p>理事長 尾 埜 健二</p> <p>〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2-7-5 電話 6321-3955 FAX 6325-6320 <a href="https://www.rokoukan.or.jp/">https://www.rokoukan.or.jp/</a></p>
---	--	--	--





# 理事会・評議員会を開催

## 令和4年度の事業報告及び決算を承認

市社協は、6月8日に理事会を開催し、はじめに、副会長の選任について審議され、大阪市民生委員児童委員協議会の小嶋憲子氏が新たに選任されました。

その後、令和4年度事業報告及び決算(案)、理事及び監事候補者の推薦について、評議員会の開催(案)の3つの議案について審議され、いずれも原案どおり承認されました。

令和4年度事業報告においては、適正な法人運営に向けた区社協支援の一環として、各区社協の法人運営担当職員や事務局長などを対象とした研修を複数回開催するとともに、法人運営に係る実務手引書を作成したことを報告しました。

また、コロナ禍においてもつながらることの大切さを実感し、地域における活動を活かしてもらえるよう、活動状況を調査し、調査結果とあわせて、創意工夫により活動を継続している事例を報告書にまとめるとともに、「地域福祉活動におけるICT活用のポイント集」「動画制作の手引き」などを作成

し、活動継続・再開に向け取り組んだことを報告しました。

地域共生社会の実現に向けた取組みとしては、特に、複合的な課題を抱えた方に対する相談支援体制を充実させるため、

コミュニケーションソーシャルワーカーの機能強化や、今日的な課題のひとつとして、ヤングケアラーへの理解を深めるためにシンポジウムを開催したことを報告しました。地域こども支援ネットワーク事業の推進について、コロナ禍での重要な課題である活動を継続すること

に対して支援するため、実践事例や工夫点を共有できる連絡会を開催したほか、令和4年度から新たに、大学生を対象としたこども食堂での実習などの受入れを実施するなど、こどもの課題について現状を知り、理解者を増やすためのさまざまな取組みについて報告しました。

理事会の最後には、会長・常務理事から令和4年11月以降の職務執行状況について報告しました。生活福祉資金特別貸付について、借受人へのフォローアップなど今後も継続的に必要

な支援に取り組んでいくこと、市社協が実行委員会の事務局を務めた第34回近畿地域福祉学会大阪大会が多数の参加を得て開催できたことなどを報告。

また、社協としても人材確保・育成が重要な課題であることから、職員の採用・確保を積極的におこなったほか、相談支援体制の強化に向けた事業横断的な研修を新たに実施するなど人材育成にも力を入れてきたことなどを報告しました。

6月23日に開催した評議員会では、令和4年度事業報告及び決算(案)について承認されるとともに、新たに監事として推薦された税理士の羽賀順一氏を含む次の任期の理事及び監事候補者全員が選任されました。

事業報告・決算について、  
詳細はHPに  
掲載しています。



## 医療DX推進の基盤

大阪公立大学大学院 生活科学研究科 教授 所道彦

マイナンバーカードをめぐって混乱が続いている。周知の通り、すでに健康保険証との一体化という方針が示されている。国民皆保険の日本において全国民に関わる壮大なスケールの制度変更であるが、デジタル化の基本的な部分はアナログ的な作業に左右されることと認識されることとなっている。

日)。生活保護(医療扶助)のオンライン資格確認の導入、電子カルテ情報共有サービスの構築、介護保険、予防接種、母子保健、自治体による医療費助成などに関わる情報共有の推進などの内容が含まれており、業務の簡略化やサービス利用手続きのオンライン化が目指されている。

ところで、これらは「医療DXの推進」という政府の大きな方針の一部でもある。DXとは、デジタル技術による社会や生活の形・スタイルを変えること(デジタルトランスフォーメーション)の略称であり、保健・医療・介護の情報の活用を通じて、関係者の業務やシステム、データ保存の外部化・共通化・標準化を図り、国民自身の予防を促進し、より良質な医療やケアを受けられるように、社会や生活の形を変えていくこととされている(政府の医療DX推進本部5月29

いとしても、システムの変更には、定着までのプロセスにおいて、サービス提供者側にも様々な負担が発生する。医療や福祉の現場の中には、現状で手一杯のところも多い。新システム導入に伴う「コスト」についても広く検討が求められている。そもそも社会保障や社会福祉の制度改革を個人の損得(ポイント付与)で誘導するだけでは本当の理解が得られない。「医療DXの推進」が社会サービスの量や質を具体的にどう改善するのか、この部分の積極的な説明が求められている。

市協

# 介護予防ポイント事業で、活動者も施設も元気に!

大阪市介護予防ポイント事業は、高齢者の外出の機会の増加、生きがいづくりや介護予防を目的に、研修を受けて登録した65歳以上の方が、介護保険施設や保育所でさまざまな活動をおこなうもので、活動登録者数は2,897人、受入登録施設数は822施設となっています。(令和5年7月24日時点)

平成27年度の事業開始以来、活動者にとって生きがいづくりや介護予防につながっているのはもちろん、受入れをおこなっている高齢者施設の職員の方からは、「スタッフとはまた違う“同世代の仲間”という立場で接していただき、スタッフでは補いきれない効果をもたらしてくださっています」、保育所の職員の方からは、「核家族が多いなか、子どもたちだけではなく職員も年長者の方々との関わりのなかで、相手を思いやる優しい気持ちに触れさせていただけることに感謝しています」などの声が寄せられています。



▲趣味を活かして活躍中!(花壇のお手入れ)

コロナ禍の影響で、活動を控えていた方や受入れを見合わせていた施設も多くありましたが、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、少しずつ新規登録や活動・受入れ再開の動きがみられています。

介護予防ポイント事業で新たなつながりやふれあいが生まれ、活動者や施設の“元気”につながることを願っています。

## 活動者を受け入れたい!

### 介護保険施設や 保育所・認定こども園の方へ

活動者が架け橋となって地域とのつながりができたり、職員とは違う立場で利用者・園児の想いを傾聴してもらうことで、新たなニーズの発見につながり、本来のサービスを手厚く提供できる(サービスの質・量の拡充)など、施設側のメリットも数多くあります。

ぜひ、受入施設としてご登録ください。

#### 介護保険施設での活動例

お話相手、囲碁・将棋の対戦、製作のお手伝い、おやつや飲み物の準備、食器洗い、楽器の演奏、レクリエーションのお手伝い、園芸、お掃除、洗濯物たたみ など

#### 保育所・認定こども園での活動例

絵本の読み聞かせ、お話相手、遊び相手、おやつや飲み物の準備、食器洗い、園庭の手入れ、おもちゃの修理、お迎え、送り出しの際の見守り など



## 活動を始めたい!

### 65歳以上の方へ

「健康のために何かはじめたい」、「誰かの役に立ちたい」など、ちょっとしたお手伝いや趣味・特技を活かして活動しませんか? 活動実績に応じてポイントが貯まり、貯めたポイントは、換金することができます。まずは、登録時研修をご受講ください。

ポイント について	2時間未満 の活動	1ポイント	換金は 1ポイント 100円
	2時間以上 の活動	2ポイント	※6ポイントから 換金可能

#### 登録時研修日程 (研修参加には事前申込が必要です)

日時	場所
8/15(火) 午前10時~正午	大阪市立社会福祉センター 天王寺区東高津町12-10
8/17(木) 午後2時~4時	此花区社会福祉協議会 此花区伝法3-2-27
9/4(月) 午後2時~4時	都島区社会福祉協議会 都島区都島本通3-12-31
9/6(水) 午後2時~4時	中央区社会福祉協議会 中央区上本町西2-5-25
9/11(月) 午後2時~4時	西区社会福祉協議会 西区新町4-5-14(西区合同庁舎6階)

※以降も開催を予定しています。詳しくはお問合せください。

#### 問合せ・申込み

### 大阪市社会福祉協議会 福祉事業課 介護予防ポイント事業担当

☎ 06-6765-5610 ☎ 06-6765-3512  
 ✉ kypoint@osaka-sishakyo.jp  
 🌐 https://www.osaka-sishakyo.jp/  
 lp/kypoint/



立ちどまらない保険。  
MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心



火災保険 自動車保険 旅行保険

www.ms-ins.com